

【資料】  
教科種目名《音楽（器楽合奏）》

発行者の略号	教出	書名	中学器楽 音楽のおくりもの
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<p>教育基本法に示されている「幅広い知識や教養、豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、様々な国や時代の楽曲・楽器が取り上げられていて、「演奏の仕方を身につけよう」では、リコーダー、ギター、箏、三味線、篠笛、太鼓や尺八などの楽器の基礎的な知識や奏法が掲載されている。</p> <p>教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲」に関連して、能力に合った教材選択ができるように、「Let's Play!」では、平易で親しみやすい楽曲と、「Let's Try!」では、難易度の高い楽曲に分けられ掲載されている。</p> <p>学校教育法に示されている「基礎的な知識及び技能」に関連して、楽器を演奏している様々な角度や部位の写真やイラストが掲載されて、アーティキュレーションを生かした表現についての「演奏のポイント」が記載されている。</p> <p>学習指導要領の音楽科の目標に示されている「音楽に対する感性」及び「音楽活動の基礎的な能力」に関連して、それぞれの楽器の基礎的な奏法について学習でき、リコーダーでは、ステップを踏んで学習できる教材が配列されている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、箏や三味線、太鼓、篠笛、尺八などの和楽器の奏法について、写真が掲載され解説されている。</p> <p>* 詳細は、資料（器楽 - 3～器楽 - 4）に記載。</p>
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<p>「思いやる力」に関連して、「合わせて演奏しよう」のコーナーでは、仲間と協力しながら表現活動ができるようアンサンブル曲が掲載されている。</p> <p>「たくましく生きる力」に関連して、仲間と音やリズムを聴き合い、協力して楽しみながら表現活動できるよう、ボディパーカッションなどが取り上げられている。</p> <p>「社会とかかわる力」に関連して、音楽家の演奏写真や中学生へのメッセージが掲載され、演奏家の生き方が示されている。</p>
内 容			<p>リコーダーの学習では、「息のコントロールについて」などのアドバイスや「演奏のポイント」が記載されている。</p> <p>ギターの学習では、「アポヤンド」「アルアイレ」「アルペッジョ」などの奏法が示され、タブ譜が記載されている。</p> <p>和楽器の学習では、それぞれの楽器で「唱歌」が取り上げられており、箏の楽譜は縦譜と五線譜の両方が記載されている。</p> <p>長唄「勧進帳」から「寄せの合方」など、我が国や諸外国の様々な音楽の教材曲が掲載されている。また、ソプラノリコーダーだけで演奏する曲やリコーダーと鍵盤楽器、和楽器など多様な組み合わせのアンサンブル曲が掲載されて、演奏表現を工夫するポイントや方法が記載されている。</p> <p>手作りの和楽器（横笛）の作成方法を扱ったコーナーが設けられている。また、口絵の「制作現場を訪ねて」では、演劇や映画の中で使われる音楽の制作の様子が、紹介されている。</p> <p>* 詳細のデータは、資料（器楽 - 6）に記載。</p>
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁			<p>教科書の前半は、リコーダー、ギター、和楽器の順番で各々の楽器の基礎的な奏法が掲載され、後半は和楽器の合奏、リコーダーの合奏などアンサンブル曲集で構成されている。</p> <p>判型はA B判で「この教科書は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。」「この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」と表記されている。</p> <p>* 詳細のデータは、資料（器楽 - 6）に記載。</p>
表記・表現			<p>各ページに学習する内容を表すインデックスが示されている。</p> <p>各楽器の演奏拡大写真が掲載されており、写真の中に奏法のポイントや矢印マークが示されている。</p> <p>* 詳細のデータは、資料（器楽 - 6）に記載。</p>

【資料】  
教科種目名《音楽（器楽合奏）》

発行者の略号	教 芸	書 名	中学生の器楽
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<p>教育基本法に示されている「幅広い知識や教養、豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、幅広いジャンルの音楽が扱われ、「Let's play instruments!」では、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八や打楽器の各楽器の特性や基本的な奏法が掲載されている。</p> <p>教育基本法に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲」に関連して、「段階を踏んで学習できるよう配列されており、「練習の手順やポイント」「演奏のポイント」が設けられている。</p> <p>学校教育法に示されている「基礎的な知識及び技能」に関連して、楽器を演奏している様々な角度や部位の写真やイラストが掲載されて、語句の意味や楽器の扱い方、奏法の基本が、「キーワード」や「Q A」などのコーナーに記載されている。</p> <p>学習指導要領の音楽科の目標に示されている「音楽に対する感性」及び「音楽活動の基礎的な能力」に関連して、学習内容と教材の関連を「音楽学習 MAP」に示し、音楽を形づくっている要素〔共通事項〕アとの関連を「学習の窓口」として取り上げている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、和楽器では、「楽器を知ろう」のコーナーで、奏法だけではなく各楽器の伝来ルートや歴史、種類、他の楽器との比較が掲載されている。</p> <p>* 詳細は、資料（器楽 - 3 ~ 器楽 - 4）に記載。</p>
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<p>「思いやる力」に関連して、「アンサンブル セミナー」のコーナーでは、お互いの音を聴き合い、仲間と音を合わせる学習活動が設けられている。</p> <p>「たくましく生きる力」に関連して、仲間と助け合い、楽しみながら表現活動できるように手拍子アンサンブル、和楽器によるアンサンブル曲が取り上げられている。</p> <p>「社会とかかわる力」に関連して、日本の若い演奏家からのメッセージや写真により、演奏家の楽器とのかかわりや生き方が掲載されている。</p>
内 容			<p>リコーダーの学習では、「低い音は、どうしたらきれいにい出せますか？」や「きれいな音を出す秘訣はなんですか？」などのQ A形式でアドバイスが示されている。</p> <p>ギターの学習では、「ストローク」「アポヤンド」「アルアイレ」などの奏法が記載され、コードの押さえ方が図で示されている。</p> <p>和楽器の学習では、それぞれの楽器で「唱歌」が取り上げられており、箏の楽譜は縦譜と五線譜の両方が記載されている。</p> <p>長唄「勧進帳」から「寄せの合方」によるリズムアンサンブルなどや、我が国や諸外国の様々な音楽の教材曲が掲載されている。また、「アンサンブル」では、仲間と音を合わせる活動や楽曲が取り上げられて、各アンサンブルの曲の特徴や演奏する際のポイントが記載されている。</p> <p>様々な国の打楽器についての奏法が掲載され、小太鼓やコンガ、ボンゴなどの楽器に挑戦するページが設けられている。</p> <p>* 詳細のデータは、資料（器楽 - 6）に記載。</p>
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁			<p>教科書の前半は、リコーダー、ギター、和楽器の順番で各楽器の基礎的奏法が掲載され、後半はアンサンブルセミナーとアンサンブル曲集で構成されている。</p> <p>判型はA B判で、「ユニバーサルデザイン」への取り組み・全ての生徒の色覚特性に適應することを目指してデザインしています。・特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。」と表記されている。</p> <p>* 詳細のデータは、資料（器楽 - 6）に記載。</p>
表記・表現			<p>生徒や先生のキャラクターが吹き出しの言葉の中で、演奏のポイントやアドバイスを取り上げている。また、各ページにインデックスで学習内容が示され、英語表記もされている。</p> <p>演奏している手の動きを拡大写真で掲載し、写真の中に手の動きが連続して見られる画像や、奏法のポイントや矢印マークが示されている。</p> <p>* 詳細のデータは、資料（器楽 - 6）に記載。</p>

【資料】

教科種目名【音楽（器楽合奏）】

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

第2条 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

教出	幅広いジャンルの音楽が扱われ、「演奏の仕方を身につけよう」では、リコーダー、ギター、箏、三味線、篠笛、太鼓や尺八などの楽器の基礎的な知識や奏法が掲載されている。また、「合わせて演奏しよう」では、互いの音を聴き合い、仲間と助け合いながら表現活動ができるように、様々な国や時代の楽曲・アンサンブル曲が掲載されている。演奏表現を工夫するポイントや方法が記載されている。
教芸	幅広いジャンルの音楽が扱われ、「Let's play instruments!」では、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八や打楽器の各楽器の特性や基本的な奏法が掲載されている。また、「アンサンブル セミナー」「アンサンブル」「名曲スケッチ」では、グループ活動の中で仲間と協力しながら進める表現活動が取り上げられて、多種多様な教材が掲載されている。学習のポイントとなる、練習方法や演奏のポイントが記載されている。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

教出	「音のスケッチ」で創作の学習内容が取り上げられている。「With My Heart 奏でる喜び」の中で、音楽家の演奏写真や中学生へのメッセージが掲載されている。また、発展学習として「制作現場を訪ねて」の中で演劇や映画の中で使われる音楽の制作の様子を紹介している。
教芸	「My Melody」の中で、箏の楽器の特性を生かした創作の学習内容が取り上げられている。また、発展的学習として、口絵の「楽器と出会う」の中で、日本の若い演奏家からのメッセージや写真が掲載されている。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

教出	仲間と助け合い協力しながら表現活動ができるように、打楽器では大太鼓・小太鼓を使った「ライディーン」や和太鼓を使った「からくり絵巻」、ボディパーカッション「ジョイフルコンビネーション」などのアンサンブル曲が取り上げられている。
教芸	仲間と助け合い協力しながら表現活動ができるように、「アンサンブルセミナー」では、「テキーラ」のリズム伴奏をグループで考えてつくる学習活動が設けられている。また、「打楽器のための小品」では、楽器の組み合わせや音の重ね方を工夫するアンサンブル曲が取り上げられている。

四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

教出	阪神大震災復興祈念事業から生まれた「千の海響 望の章」を取り上げている。また、「一番星みつけた/夜空を見上げて」「もみじ」「故郷」「さくらさくら」「かんづばき」「春」など自然を表現した曲が掲載されている。
教芸	「ふるさと」「虫づくし」「姫松」「さくらさくら」「ほたるこい」「春」「星の世界」「ブルタバ」など日本や世界の自然を題材とした曲が取り上げられている。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

教出	箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八などの和楽器の奏法や歴史、演奏家からの言葉が扱われ、また、「日本の楽器と音楽」「さまざまな日本の横笛」では年表や写真で我が国の伝統文化を学習できるようになっている。また、和楽器を使ったアンサンブルが複数取り上げられている。「名曲旋律集」では、代表的な歌曲「赤とんぼ」「花の街」を箏で演奏する形で取りあげている。
教芸	和楽器では、奏法だけでなく各楽器の伝来ルートや歴史、種類、他の楽器との比較などが掲載されている。日本各地の伝統芸能の写真や様々な参考曲が取り上げられている。音や音楽のもつ特質や姿勢、礼儀について記載されている。また、和楽器を使ったアンサンブル曲や諸外国の民族音楽も取り上げられている。口絵に日本の伝統音楽の楽器編成が紹介されている。

第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が行わなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行わなければならない。

教出	リコーダーの「演奏の仕方を身につけよう」では、新出の指使いをそのページに記載し、段階を踏んで学習できるようになっていると共にアルトリコーダーでもソプラノリコーダーでも学習できるようになっている。ソプラノリコーダーのみのアンサンブル曲が掲載されている。また、各楽器の演奏拡大写真の中に、奏法のポイントや矢印マークが示されて、説明されている。「合わせて演奏しよう」では、「Let's Play!」平易で親しみやすい楽曲と「Let's Try!」難易度の高い楽曲に分けられ、能力に合った教材選択ができるようになっている。巻末の口絵には、リコーダーの運指表、ギターのコード表が記載されている。
教芸	リコーダー曲においてはLESSON 1 から 3 に分け、使用する音の音域を示し、段階を踏んで学習できるよう配列されている。楽器の基本的な奏法について、演奏している手の動きを拡大写真で掲載し、写真の中に手の動きが連続して見られる画像や、奏法のポイントが矢印マークで示されている。和楽器では、「練習の手順やポイント」「演奏のポイント」が記載されている。また、「アンサンブルセミナー」では、ソプラノリコーダーの場合の楽譜が記載されていると共に、「ここが分かればGrade up!」として、アーティキュレーションや表現を工夫する方法が取り上げられている。巻末のページに、リコーダーの運指表、ギターのコード表が記載されている。

## 学校教育法第46条の内容

第46条 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

教出	楽器を演奏している様々な角度や部位の写真やイラストが掲載されている。リコーダーの学習では、生徒の実態に応じて、アルトリコーダーとソプラノリコーダーのどちらでも選択できるように練習曲が取り上げられている。基礎的な奏法について学習するとともに、「演奏のポイント」でアーティキュレーションを生かした表現について示されている。また、リコーダーと和楽器によるアンサンブルなど、学習したことを生かした表現活動が設けられている。
教芸	楽器を演奏している様々な角度や部位の写真やイラストが掲載されている。リコーダーの学習では、「QA」のコーナーで、きれいな音を出すためのアドバイスが示され、各楽器では、「練習のポイント」が記載されている。男女のキャラクターの吹き出しには、学習を進めるうえでのアドバイスや創作学習への考えるヒントが示されている。また、「音を聴いて確かめよう」では、更に試してみようという内容が設けられている。

## 学習指導要領の教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

教出	前半は楽器（リコーダー、ギター、和楽器）の基礎的な知識や奏法をまとめた「演奏の仕方を身につけよう」、後半はアンサンブルを中心とした「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」で構成されている。ステップを踏んで学習できる練習曲が掲載されている。また、民謡やわらべうたなど、我が国の伝統音楽や世界の民謡や諸外国の様々な音楽の教材曲が掲載されている。
教芸	学習内容と教材の関連を「音楽学習MAP」に示し、音楽を形づくっている要素〔共通事項〕アとの関連を「学習の窓口」として取り上げている。「Let's play instruments!」では、各楽器の特性や基本的な奏法、「アンサンブル セミナー」「アンサンブル」では、仲間と音を合わせる活動が取り上げられて、我が国及び諸外国の様々な教材が掲載されている。各アンサンブルの曲の特徴や演奏する際のポイントが記載されている。

## 学習指導要領の主な改善事項に関連する内容

### 言語活動の充実

教出	箏の「さくら変奏曲」を鑑賞して、おもしろいと感じた部分を紹介する文を作る学習活動が記載されている。また、箏の平調子の響きを生かした「荒城の月」の前奏をつくり自分のイメージを発表するという学習活動が記載されている。
教芸	「さくらさくら」の前奏づくりの創作学習では、桜のイメージやイメージに合った奏法をメモしたり、考えた音の流れを図形で表したりする学習活動や「テキーラ」のリズム伴奏をグループで工夫する学習活動が設けられている。男女のキャラクターが話し合いのヒントを示している。

### 伝統や文化に関する教育の充実

教出	箏や三味線、太鼓、篠笛、尺八などの和楽器の奏法について、写真が掲載され解説されている。それぞれの楽器で「唱歌」が取り上げられており、箏の縦譜や三味線の文化譜など和楽器固有の記譜法と、五線譜の両方が記載されている。また、日本の楽器と音楽について歴史年表に写真と解説の形で紹介されている。
教芸	和楽器（箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八）の奏法について、写真が掲載され解説されている。それぞれの楽器で「唱歌」が取り上げられており、「楽器の音色を聴いてみよう」のコーナーで、鑑賞曲が紹介されている。箏の縦譜や三味線の文化譜など和楽器固有の記譜法と、五線譜の両方が記載されている。巻末に日本の伝統音楽の楽器編成を掲載している。

### 道徳教育の充実

教出	「With My Heart 奏でる喜び」の中で、音楽家の演奏写真や中学生へのメッセージが掲載されている。和楽器の演奏家からは、チャレンジする大切さや楽器とのかかわりの大切さなどのメッセージが記載されている。
教芸	「楽器と出会う」の中で、日本の若い演奏家からの楽器紹介や演奏者の写真が掲載されている。演奏家からのメッセージには、楽器に出会ったきっかけや楽器への思いなど演奏家の生き方や伝えたいことなどが示されている。

### 体験活動の充実

教出	リコーダー、ギター、和楽器など、いろいろな楽器の奏法を学び、簡単な曲を演奏することができるよう配列されている。また、リコーダーと和楽器による合奏やボディパーカッションなど様々な形態のアンサンブル曲が取り上げられている。発展として、手作りの横笛の作成方法等が掲載されている。
教芸	リコーダー、ギター、和楽器、打楽器など、いろいろな楽器の奏法を学び、簡単な曲を演奏したり創作したりできるように配列されている。打楽器アンサンブルやリコーダーアンサンブルなど様々な形態のアンサンブル曲が取り上げられている。

## 2 かながわ教育ビジョンとの関連

[ 思いやる力 ] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

( 共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、男女平等教育、道徳教育など )

教出	様々な国や時代の楽曲や楽器が取り上げられている。「合わせて演奏しよう」のコーナーでは、仲間と協力しながら表現活動ができるようアンサンブル曲が掲載されている。
教芸	様々な国や時代の楽曲や楽器が取り上げられている。「アンサンブル セミナー」のコーナーでは、お互いの音を聴き合い、仲間と音を合わせる学習活動が設けられている。

[ たくましく生きる力 ] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

( 公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など )

教出	仲間と音やリズムを聴き合い、協力して楽しみながら表現活動できるよう、ボディパーカッション、リコーダーと和楽器によるアンサンブルなどが取り上げられている。
教芸	仲間と助け合い、楽しみながら表現活動できるよう手拍子アンサンブル、和楽器によるアンサンブル曲が取り上げられている。ページの左上上部には、そのページの楽器名や標題などが英語表記されている。

[ 社会とかがわる力 ] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。

( 生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など )

教出	音楽家の演奏写真や中学生へのメッセージが掲載され、演奏家の生き方が示されている。阪神大震災復興祈念事業から生まれた「千の海響 望の章」や「もみじ」「故郷」「さくらさくら」「かんつばき」「春」など自然を表現した合奏曲が掲載されている。
教芸	日本の若い演奏家からのメッセージや写真により、演奏家の楽器とのかかわりや生き方が示されている。「ふるさと」「虫づくし」「姫松」「さくらさくら」「はたるこい」「春」「星の世界」「ブルタバ」など自然を表現した合奏曲が掲載されている。

### 3 内容

		調査研究項目	教出	教芸
1	表現 (器楽)	表現(器楽)を扱っている曲数	66	56
2		独奏曲・斉奏数	27	26
3		合奏曲・二重奏数	43	30
4		諸外国の音楽の曲数	30	32
5		世界の諸民族の音楽の曲数	2	7
6		我が国の伝統音楽・長く歌われ親しまれている歌曲の曲数(民謡・わらべうた等)	34	17
7		和楽器の表現活動を扱っている箇所数	18	11
8		扱われている楽器の種類数	15	28
9		楽器の基礎的な奏法について取り上げている箇所数	35	31
10	共通事項	楽曲と関連付けて共通事項ア(音楽を形づくっている要素:音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成)	適	適
11		共通事項イ(音楽にかかわる用語)	48	45
12	全体	鑑賞との関連が図られている曲数	4	18
13		活動のめあてが明記されている箇所数	7	8
14		作詞・作曲者を紹介している箇所数	10	9
15		表現方法や表現形態の選択の工夫が扱われている箇所数	22	32
16		身体的表現活動を扱っている箇所数	1	1
17		言語活動やコミュニケーションを図る活動を取り入れている箇所数	1	2
18		コンピューターや教育機器を扱った箇所数	2	6
19		神奈川県に関連のある曲・記述箇所数	0	0
20		発展的な学習内容を取り扱っている箇所数	2	1
21		表現(創作)との関連	2	1

### 4 構成・分量・装丁

調査研究項目	教出	教芸
表現(器楽)のページ数	67	59
楽典のページ数	1	1
その他のページ数	42	38
総ページ数	110	98
27年度版との比較	+ 12%	± 0%
27年度総ページ数	98	98

調査研究項目	教出	教芸
我が国の伝統音楽・長く歌われ親しまれている歌曲・和楽器を扱ったページ数	50	32
27年度版との比較	+ 32%	- 3%
27年度我が国の伝統音楽・長く歌われ親しまれている歌曲・和楽器を扱ったページ数	38	33

### 5 表記・表現

調査研究項目	教出	教芸
楽譜の表記・大きさ	適	適
写真・絵・図表数	409	383
文章表現や漢字・かなづかい・用語・記号・計量単位・図版などの使用	適	適
文字の大きさ・字間・行間・書体など	適	適
文章・図版などの割付け	適	適